



ほっどちゃん

地域福祉のための情報誌

社協だより

幸せな社会

社協の除雪サービスご案内
えべつ雪の処理情報
夏休みワークキャンプ



10月1日から
共同募金運動が
スタートします

支えあうココロ、
未来へ。

赤い羽根共同募金 × piapro

「支えあうココロ、未来へ。」プロジェクトは、今年で5年目を迎えます。このプロジェクトは、多くの方々に「赤い羽根共同募金」に関心を持っていただくこと、また住民同士の支えあい活動を若い世代からも盛り上げ、安心して暮らすことのできる地域を目指すことを目的として、クリプトン・フューチャー・メディア(株)様の協力を得て実施をするものです。



illustration by さきっこ

© Crypton Future Media,INC.www.piapro.net piapro

発行

社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ www.ebetsu-shyakyo.jp

メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2016

10月

No. 183



社協の除雪サービスのご案内

申込・問合せ

☎ 385-1234

福祉除雪サービス

区分

除雪派遣サービス

公道(車道)除雪後の置き雪を午前中に除雪専用車で、横の空きスペースに置き換え(積上げ)ます。除雪箇所は、玄関口前または車庫前です。

※農村地域・国道沿い対象外。

作業実施者 江別環境整備事業協同組合(作業委託先)
〔工栄町19-1 ☎381-6622〕加盟業者が行います。

黒塗箇所を除雪。
敷地内は除雪しません。

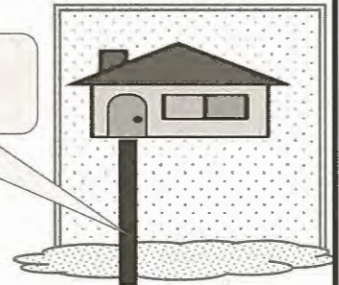


除雪作業員が、原則、公道除雪が入った日の午前中に玄関から道路までの通路を除雪します。除雪箇所の指定は不可。

※農村地域対象外。作業員が確保できないときに利用できない場合あり。

作業実施者 江別市シルバー人材センター、障がい者福祉施設、社協に登録している除雪作業員など(作業員の選定は社協が行います)。

黒塗箇所の生活通路
(90cm程度幅)を除雪。



利用料金の自己負担額 1シーズン(12月~3月)の利用料金

市・道民税	非課税世帯	13,450円
	均等割のみ課税世帯	18,450円
	均等割・所得割とも課税世帯	23,450円

※1間口3mを基準とした基本料金35,640円から市助成金(市・道民税課税状況により助成金額は変わります)を差引した上記金額が利用料金の自己負担額です。

間口追加 上記自己負担料金に12,200円追加で1間口分追加できます。

支払方法 サービス利用決定後に利用料金を徴収いたします。(利用料金・支払先を記載した通知書を郵送します)

利用料金の自己負担額 1回あたり400円

※1回当たりの除雪派遣サービス基本料金1,030円から社協助成金630円を差し引きした400円が利用料金の自己負担額です。1シーズン20回まで利用できます。

支払方法 利用回数に応じて、原則毎月末まで利用料金を徴収いたします。

~除雪作業員募集

社協では除雪派遣サービスの除雪作業員を募集しています。
作業報酬は1回1,030円。詳細は社協まで。

次の **所得・世帯** いずれも該当する世帯が対象です。

所得 生計中心者の所得税または市・道民税が非課税

世帯 ①から⑥に該当する人のみで構成されている世帯

- ①満70歳以上(S22. 3. 31以前生まれ)
※夫婦世帯はどちらか一方で可
- ②要介護の方(1~5)
- ③身体障がい者(1級~3級)
- ④精神障がい者(1級・2級)
- ⑤知的障がい者(A判定・B判定)
- ⑥18歳以下

前年度利用世帯(782世帯)へは、直接申込案内を郵送しています。新規希望は社協まで。

申込は **11月18日(金)**まで社協へ申込書を提出。

次の **所得・世帯** いずれも該当する世帯が対象です。

所得 生計中心者の市・道民税が非課税

世帯 ①から⑥に該当する人のみで構成されている世帯

- ①満70歳以上(S22. 3. 31以前生まれ)
※夫婦世帯はどちらか一方で可
- ②要介護の方(1~5)
- ③身体障がい者(1級~3級)
- ④精神障がい者(1級・2級)
- ⑤知的障がい者(A判定・B判定)
- ⑥18歳以下

前年度利用世帯(171世帯)へは、直接申込案内を郵送しています。新規希望は社協まで。

申込は **10月24日(月)**まで社協へ申込書を提出。

お墓新規建立・リフォーム・移転

見えづらい文字のペンキ塗り替え・花立ての交換・目地修理・追加文字彫刻・お墓のお掃除 ※お墓のことならどんなことでもお気軽にご相談下さい。

★「安心石材店の会」加盟店・15年の安心施工保証
江別市営墓地工事実績1700基・墓石ローン取扱

TEL (011) 383-1232

(有) 上光石材工業

本社・展示場 江別市牧場町1-21 工場 江別市工業町21-33



江別の皆様とともに 地域の発展に貢献します

EPA 江別印刷業協同組合

事務局

〒069-0801 江別市中央町29番地の33 (株)アスカ印刷 内
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(株)アスカ印刷	(株)ア・ノ研究社	笹岡印刷株式会社
	(株)徳田印刷	(株)トラスティプリント	(株)のっぽろ印刷
	藤塗装工業(株)	(株)山田印章印刷	(株)くらしの新聞社 賛助会員

除雪サービス注意事項 ▶申込時には料金を徴収していません。▶江別市役所で世帯全員の課税状況を確認いたしますので申込書には調査に関する同意の捺印が必要です。▶長期入院・施設入所などの留守宅および対象外世帯と除雪作業箇所を共同で使用している場合(2世帯住宅など)は、上記要件を満たしても対象外となります。



募金は、 未来へ つづく。

困っている人がいる。
助けてあげたいと思う。
その思いを募金に変える。
助成金となって必要な人のもとへ届く。
困っていた人が笑顔になる。

戦後から続く、赤い羽根共同募金。
人を思うやさしさは、
色褪せることなどありません。
思いやり、助け合いは
いつの時代にも必要で、
必然のことだから。

70年、ありがとう。
赤い羽根共同募金はこれからも
やさしさをつないで、未来へ。

今年もご協力よろしく申し上げます。



おかげさまで70周年

皆様からのご協力をお待ちしております。
募金はお住まいの地域の共同募金会窓口までお持ちください。

江別市共同募金委員会

〒069-0811 江別市錦町14番地87 総合社会福祉センター内
TEL:011-385-1234 FAX:011-385-1236



あなたの募金は、福祉を元気づけています。

皆様からの募金は福祉施設や社会福祉協議会でされる福祉活動を通じ、幅広く使われています。



おかげさまで70周年

子どもたちや青少年の健全育成のために

子育て中のお母さん、お父さんを応援する活動や、子どもたちが地域で暮らす様々な世代の人たちと触れ合う世代間交流事業のほか、養護施設等で暮らす児童・生徒への支援を行っています。



被災者とボランティアを支える活動のために

大規模な災害が起こった際に被災された人々とボランティアをつなぐ災害ボランティアセンターの設置・運営支援や、被災した福祉施設の復旧支援等に役立てられています。



お年寄りが安心して暮らせる地域づくりに

一人暮らしのお年寄りのために、ボランティアさんが訪問し、栄養の整った食事を届けたり、地域から孤立をなくすことを目的とする活動等に役立てられています。



障がいのある人たちの社会自立のために

障がいのある人たちの社会参加支援、就労活動に必要な機器の購入、または福祉施設への車両整備等に役立てられています。



地域で活躍するボランティアの育成や研修に

学校で行われる思いやりの心を育てる福祉教育や、地域で福祉の担い手を育てるボランティア研修会等に役立てられています。



※募金額の一部は毎年「災害等準備金」として積み立てられています。



「ありがとう」の声は、うれしい気持ちにします。

募金してくれた皆様へ福祉の現場からたくさんの感謝の言葉が届いています。その一部をご紹介します。

滝上町

北海道滝上高等学校
ボランティアサークルのびる

福祉施設への訪問活動

高齢者や小学生以下の子どもたちの施設を訪問し、地域交流を行っています。訪問先では昔のおもちゃなどを使って交流を深めました。この他にも、ボランティア大会への参加や町内行事のお手伝いなど幅広く活動しています。生徒の活動は「ありがとう」と伝えたいという思いに支えられています。寄付をしてくださった皆様に関係者一同深く感謝申し上げます。



長沼町

社会福祉法人長沼陽風会
パン工房 陽風堂

パン製造機の購入

当事業所は障がいを持った方々がパンの製造・販売を通じて自立した生活を営めるよう事業を展開しています。これまで使用していたものは老朽化が著しく、安全装置等の問題もありましたが、新しくミキサーを購入できたことでより安全な環境で作業することが可能になりました。募金をしてくださった皆様、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



「赤い羽根サポーター宣言」は、北海道のチームプレー。

北海道で活躍するスポーツチームや漫画家の皆さんが、プレーや作品を募金にかえて、赤い羽根共同募金へ寄付する活動に取り組んでいます。あなたがチームや漫画家の皆さんを応援することは、福祉の応援になっています。

北海道日本ハムファイターズ



栗山監督はチーム1勝につき募金する「勝利募金」、岡・田中・中田・西川選手はヒット1本につき募金する「ヒット募金」のほか、栗山監督は「等封募金」、中田選手は「ホームラン募金」、岡・田中・西川選手の「盗塁募金」のプレミアム募金にもご協力いただいております。

北海道コンサドーレ札幌



チーム一丸となって、勝ち点1につき3000円を募金する「勝点募金」、1ゴールにつき3000円を募金する「ゴール募金」にご協力いただいております。さらにチャリティーサッカー教室やチャリティーオークションを開催し、寄付をいただいております。

北海道を愛する漫画家の皆様

いがらしゆみこ、中山昌亮、石川サブロウ 他
描き下ろしイラストなどをご提供いただき、グッズ募金を実施しています。このほかにも赤い羽根まんが祭りの開催や、チャリティーオークションを実施しています。



北海道銀行 フォルティウス



シーズンを通して1勝につき2000円を募金する「勝利募金」にご協力いただいております。

ロコ・ソラーレ (LS北見)



シーズンを通して1勝につき2000円を募金する「勝利募金」にご協力いただいております。

エスプラダ北海道



シーズンを通して1勝につき1000円を募金する「勝利募金」にご協力いただいております。

レバンガ北海道



シーズンを通して1勝につき1000円を募金する「勝利募金」やチャリティーオークションにご協力いただいております。

キャラクターたちも赤い羽根共同募金を応援しています。



赤い羽根共同募金 × piapro
初音ミクを通じて、クリエイターの皆さんが赤い羽根共同募金を応援しています。



おもいやりのきもちが、みんなのチカラ。
「妖怪ウォッチ」とコラボレーションして、募金箱など募金を後押しするグッズを展開しています。

※各協力方法および協力者に関しては平成28年度の内容です。

えべつ 2016▷17年版 雪の処理情報

【作業地域】○…市内全域 △…地域限定あり

△
活
用
上
の
注
意

- ◆「えべつ雪の処理情報」は、社協が市民の冬の困りごと「雪処理問題」を解消する一助として、関係者のご協力のもと、雪処理を行う事業所を掲載しています。
 - ◆雪の処理には費用(お金)がかかりますので、十分内容をご確認ください。
 - ◆雪の処理費用は、あなた(依頼主)と雪処理事業所(受注者)とのご相談の上、契約になります。
 - ◆トラブル防止のため作業内容・金額等を書面で明らかにして契約することをお勧めします。
 - ◆契約内容や受注者の対応などに疑問がある場合は、依頼主と受注者双方で解決してください。
- 社協は関わることはできませんので、ご理解ください。
- ◆更に詳しい情報を掲載した「えべつ雪の処理情報誌」は、社協ホームページなどでご覧になれます。

事業所名 / 所在地		お問合せ先	玄 関 通 路 除 雪	公 道 除 雪 後 置 雪 除 雪	屋 根 の 雪 下 ろ し	排 雪	作業地域限定の範囲 (詳細は直接事業所に確認して下さい)
(有) 赤石工業	豊幌 416-1	☎383-4441		△	○	○	置雪除雪は豊幌地区限定
(株) 桜井工業	あけぼの町 14-11	☎383-3320	△	△	○	○	通路・置雪除雪は江陽地区限定
(有) 鈴木建機	あけぼの町 26-4	☎382-4767				△	江別・野幌地区限定
想続の社 セピアサービス	元町 11-5 アンビシャス プラザ 2F	☎398-3881	○		○		
船木建設(株)	元江別本町 20-1	☎382-3353			○	○	
(株) 石川舗道	見晴台 97-2	☎382-0991		△	△	△	見晴台・元江別・いずみ野限定 置雪除雪は見晴台一部地域限定
江別環境サービス協同組合	工栄町 8-5	☎389-3015			○	○	
(有) リオン	角山 213	☎385-3700	○		○	○	
有限会社 清水産業	美原 545	☎385-2080	△	○		○	通路除雪は江別・野幌地区限定
北建工業(株)	上江別南町 43-3	☎383-4343		△		△	江別一部地域(あけぼの町、朝日町、東光町、上江別など)限定
若美建設(株)	上江別 335-1	☎384-7133			○		
吉田水道土木(株)	上江別 457-7	☎383-0271		△		△	置雪除雪は概ね5~7丁目間限定 排雪は概ね3~10丁目間限定
(株) 札幌庭園	高砂町 26-12	☎383-9213	○	△	○	○	置雪除雪は地域限定(要相談)
北洋建設(株)	野幌寿町 16-3	☎382-3255			○	○	
清光建設(株)	野幌美幸町 31-8	☎383-8241		△	○	○	置雪除雪は野幌8丁目~大麻地区限定
(株) 丸重工業	元野幌 940-14	☎382-4218		△		△	大麻地区限定
(有) 水工房	幸町 23-2	☎391-3535	○	○	○	○	
(有) 藤山工業	野幌町 80-5	☎383-5036		○		○	
(有) キタガワ	野幌松並町 5-16	☎385-2869	○	○	○	○	
(株) ササキ総建	野幌松並町 36-2	☎383-3735	△	△		△	地域限定(要相談)
(株) AC総研	野幌代々木町 24-12	☎090-5953-9557	○	○	○	○	
(有) のっぽろ実業	東野幌 378-1	☎382-0636	△	△	○	○	通路・置雪除雪は江別・野幌一部地域(駅南側)限定
(有) 勇猛商事	東野幌 477	☎802-8291	△	△	△	△	野幌地区限定
谷江産業(株)	東野幌本町 3-10	☎382-3740		△		○	置雪除雪は野幌・文京台地区限定
(株) アルファリフォーム	東野幌本町 19-22	☎391-2652	△		△	△	豊幌地区を除く
(株) 戸田工務店	野幌若葉町 46-107	☎376-0841				△	野幌・江別一部地域(新栄台を中心に野幌末広町~若草町)限定
(株) 戸草内重機建設	大麻元町 192-20	☎386-5923		△		△	置雪除雪は野幌一部地域限定 排雪は大麻・野幌一部地域限定
三橋工業(有)	大麻園町 28-2	☎387-0066	○		○	○	
(株) 好和興業	大麻東町 15-5	☎387-6868	△	△	△	△	大麻・野幌一部地域限定

雪の処理情報誌 「えべつ雪の処理情報誌 2016▷17年版」を発行しました。この情報誌は10月中旬頃から自治会回覧や市役所をはじめとした市内公共施設に配置します。社協ホームページでもご覧になれます。

夏休みワークキャンプ

高校生が施設で福祉体験

社協では青少年が施設で暮らしている方との関わりを通じ、他者への思いやりの気持ちを育むことを目的としたワークキャンプを開催しました。

立命館慶祥高校と野幌高校の生徒9人が高齢者福祉施設「静苑ホーム」「恵明園」「友愛ナーシングホーム」の3施設に分かれて実習を行い、福祉の現場で様々な体験をしました。



アイマスク体験
盲人擁護老人ホーム 恵明園

最新のリハビリ機器を体験
介護老人保健施設 友愛ナーシングホーム

用具を使って高齢者疑似体験
指定介護老人福祉施設 静苑ホーム

ワークキャンプ感想文

野幌高校 2年

清野 未来



2日間の友愛ナーシングホームのワークキャンプを

終えて思った事は、この施設にはリハビリステーションがあり、その中に備わっている設備の種類が他の施設とは違う道具が備わってあったので、まずこの施設に来て一番に感激した。

1日目のお風呂の中の見学の中で、自力で入浴がしづらい人の為にある機械を実際に肌で体験をしてみ、ここに初めて入居してきた人があの機械に乗って入浴するときのその気持ちがわかったような気がした。

そして今日、実際に入居している人と直接接している中で、入居者の中には、バリアり元気な方やそうでない方など、たくさんの人達と接する機会があつてよかつた

思う。

食事をしている中、自力で食べれない人や前までは目が見えていたが、今は目が見えなくなった方、認知症になつてしまつた方など、この施設には色々なものをもつた人達がいるんだと改めて思いました。

1回目の学習でおしめの活用について学び、夜用の大きいおしめから少しちびつてしまう人の為の小さなおしめまでのレパトリー豊富で、実際に夜用のおしめはどれくらいの量を吸収するのかを学習していた中で夜用のおしめの吸収する量は500mlのペットボトル1本分を吸収するというのが学習して初めて知る事ができた。

次回もこのような体験ができるワークキャンプがあつたら参加したいと思ひます。

立命館慶祥高校 1年

倉下 結帆



この2日間、静苑ホームのワークキャンプに参加させて

いただきました。最初は緊張しましたが少しずつ慣れていき、楽しく充実した2日間を過ごしました。車いすの操縦の難しさや利用者の方に合わせた食事の工夫など色々なことを教わりました。

デイサービスでは利用者の方とレクをしたり送迎の手伝いをしたりすることで他者を思いやることの大切さを実感できたと思います。栄養士さん2名とお話をさせていただいて福祉の現場でのチームワークは介護士以外の職業も密接な関わりがあり重要な役割を担っている事が分かりました。夜の語らいでは介護の仕事に就いたきっかけ、私の質問の答えなどについて教えて下さいました。1日目の昼・夕食後、2日目の朝食後にホールの下膳や水分補助、着替えの様子を体験、見学させていただき、いかにこの仕事が大変かという事を感じました。

私は将来、病気の人を助ける仕事に関わりたと思つているのでこの2日間学んだことを生かしていきたいです。本当にありがとうございました。機会があればまた来ようと思ひます。

福祉イベントで市民が交流しました

第34回 江別ふれあい福祉の広場

子どもからお年寄り、障がいのある人もない人も、みんなが楽しく集い交流する場として、市内33の福祉団体・施設が参画して第34回江別ふれあい福祉の広場が開催されました。

▶ 7月16日(土)東野幌体育館で、ふれあいスポーツレクリエーションが行われました。障がいのある人もない人も、玉入れや綱引きなどの競技を通して交流を深めました。

▶ 7月17日(日)江別市総合社会福祉センターで、江別ふれあい福祉の広場が開催されました。市内関係福祉団体が内容を企画し、ふれあいバザー、演芸披露、福祉機器展示など趣向を凝らした催しが行われました。

野外ステージでは、よさこい演舞、手話歌などのパフォーマンス披露と社会福祉功労者顕彰・共同募金助成金の交付が行われました。



福祉功労者に表彰状・感謝状を贈呈しました

(敬称略・順不同)

江別市社会福祉協議会会長顕彰

《表彰》

丹野由美子	本巢俊弘	伊地知美代子	鈴木 齋
納谷ヒロ子	長 洋子	佐藤まり子	種崎 健
吉田みどり	鈴木 郁子	木村喜代子	松崎 朋子
富樫朋美	畠山和子	多田信子	林 和恵
古野幸子	田井美枝	吉田栄子	滝谷真理子
向 礼子	邊見敦子	近藤君江	田中陸子
家本幸子	山本智恵子	大栗一孝	堀田マリ子

《感謝》

古林敬子	齊藤祐二	堂田公子	徳丸敏子
中悦子	早川のり子	福永恭子	牧田久江
村田綾子	山川節子	吉田歌津子	吉本君子
鈴木克代			

江別市共同募金委員会会長顕彰

《感謝》

澤田嘉子	辻岡雅子	株式会社 三信不動産
匿名		



車両整備団体が車いすを無料点検



8月20日、札幌整備振興会江別支部、全日本ロータス同友会札幌支部会員が社会貢献活動として市内福祉施設の車いすを無料で点検しました。

この活動は8年連続となり、今年は老健のつぼろ、特別養護老人ホーム誠志苑の2施設で約80台の車いすを安全に使用できるよう整備しました。

福祉ダンスの新たな担い手を養成

社協では高齢者や障がい者の健康の保持を目的とした福祉ダンス事業「フレンチア」を実施しています。この事業は市内ボランティア団体「江別SD・Iの会」発案で始まり、当会が中心となって活動を推進しています。

8月20日から9月4日までの期間中の6日間、新たな福祉ダンスの担い手を養成するためにフレンチア養成研修を行い、3人が受講されました。これからフレンチアの新戦力として活躍することが期待されています。

福祉ダンスは毎月第2・第4金曜日(13時~15時)に福祉センターで開催しています。

江別市共同募金委員会は9月15日理事会を開催し、金田敏雄前会長の後任として新会長に阿部 実氏(江別市自治会連絡協議会)を、副会長に町村 均氏(江別商工会議所)、工藤多希子氏(江別市女性団体協議会)、岸本佳廣氏(江別市商店街振興組合連合会)を選任しました。

就任のご挨拶

阿部 実 新会長



このたび、会長に就任しました。地域福祉を推進するための運動であることを心に刻み、重責を担ってまいりたいと考えています。本年も共同募金がスタートしました。市民の皆様の一層の参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。

歳末見舞金

該当すると思われる方は11月11日までに民生委員へ

社協では、市民の皆様からのあたたかい善意により「歳末たすけあい募金」を活用し、生活にお困りの方へ歳末見舞金を贈呈しています。

対象世帯：今年の年間収入が生活保護基準以下で次の全てに該当する世帯。

●平成28年12月1日現在、市内に居住している。

●生活保護を受けていない。 ●施設に入所していない。

●長期入院していない。

申請方法：お住まいの地区の民生委員に10月19日(水)～11月11日(金)までに申請。「給与明細書・年金の振込金額や各種手当の金額が確認できる通知書など、収入や経費が確認できる書類の提出が必要」

※この申請は江別市から贈呈される「年末見舞金(福祉灯油)の申請も兼ねているため、調査で得られた個人情報江別市へ提供します。

詳細：社協(☎3885-1234)

相談無料

ボランティア 電話相談

悩んでいる方の良き隣人として社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聴きします。

なやみゼロ ☎ 389-7830

相談時間 10時～15時

火・金 曜日 悩みごとテレホン相談

家庭生活の諸問題に関する相談(電話相談のみ)
▶江別家庭生活カウンセラーグループ
▶江別市家庭問題研究会

水 曜日 ぽこぽこ相談室

家庭生活の諸問題に関する相談(電話相談・面談可)
▶江別市家庭問題研究会

木 曜日 認知症の悩みごと相談

認知症の悩みごとに関する相談(電話相談・面談可)
▶江別認知症の人の家族を支える会

江別地区慈善バザー開催のお知らせ



秋の慈善バザーが行われます。益金は江別市社会福祉基金や共同募金へ寄付され、地域福祉推進に役立てられます。日用品など廉価で販売します。また農協女性部による野菜の即売もあります。

- 日時 10月22日(土) 10時～13時30分まで
場所 江別市コミュニティセンター(3条5丁目)
問合せ 小野 ☎384-4821
主催 江別更生保護女性会、江別市赤十字奉仕団、江別市女性団体協議会、道央農業協同組合女性部江別ブロック

くらしの困りごと ひとりで悩まず ご相談無料
ご相談ください!

社会福祉法人 江別市社会福祉協議会
くらしサポートセンターえべつ

まずはお問い合わせください TEL:011-385-1234

相談受付日時 FAX:011-385-1236

毎週月曜日～金曜日(8:45～17:15) E-mail:kurasapo@ebetsu-shyakyo.jp
(土日祝・年末年始はお休み) Blog:http://kurasapo.jugem.jp

こんな不安や心配を抱えていませんか?

- なかなか仕事が見つからない
●近所の人とのつながりがほしい
●家賃が払えず住むところが無くなりそうだ
●ずっと働いていないので就職が不安
●借金が多く生活が苦しい
●人とのコミュニケーションが苦手
●家族が引きこもっている



お困りごとの内容を整理し、必要な支援の内容を検討します。相談者と一緒様々な制度の活用など自立への計画を立てます。

貸付資金 社協では、各種貸付事業を行っています。貸付条件など詳細はお問合せください。【特別生活資金】燃料費など冬の生活費、限度額5万円、連帯保証人必要 【教育支援資金】高校入学などの入学金や授業料、民生委員による調査有、他制度利用を優先 【福祉金庫】一時的な生活困窮時の生活費、限度額4万円、連帯保証人必要

善意の寄付

ありがとうございました

平成28年6月1日～8月31日
(敬称略・順不同)

社会福祉基金

▼趣旨に賛同して
札幌学院大学法学部行政学特論日外部講師一同 50,000円、三和電工株式会社 10,000円

▼チャリティ・イベントの
益金・売上など

江別SD-1の会 30,000円
▼ふれあい福祉の広場
江別更生保護女性会 5,000円、江別市遺族会 12,920円、江別市芸能赤十字奉仕団 50,000円、江別市高齢者クラブ連合会女性部 3,000円、江別市女性団体協議会 21,586円、江別市赤十字奉仕団 109,974円、江別市母子会 3,882円、えべつ手話の会 5,610円、江別市立病院あすか家族会 3,000円、江別あすか福祉会 5,000円、江別聴力障害者協会 4,950円、江別認知症の人の家族を支える会 10,000円、大麻手話の会 3,000円、恵明園・静苑ホーム 7,895円、点字ろくの会 17,060円、ナルク江別 5,000円、北海道手話通訳問題研究会道央支部江別班 9,440円、北海

道全調理師会江別支部 30,000円、まちの灯 13,060円、ケアハウスゆうあい 17,340円、コミュニティ・カフェ笑くぼ 4,000円、いけまぜアドベンチャー 2,000円

一般寄付金

▼趣旨に賛同して

江別市スポーツ推進委員協議会 2,000円、フレンドサークル 5,000円、篠津ボランテアグループ 1,750円、小野澤秀晃 1,000円、北海道大麻高等学校PTA 8,000円、佐保寛志 5,000円、匿名 6,417円
▼チャリティ・イベントの
益金・売上など
全道古美術推進協議会会長 岩佐邦夫 15,000円

平成28年熊本地震義援金

8月31日現在で570,652円の義援金が寄せられています。(江別市共同募金委員会受付分)
豊幌町内自治会 50,000円、新響ハーモニ 10,000円、佐保寛志 10,000円、江別市スポーツ振興財団 10,000円、江別市スポーツ振興財団職員一同 40,000円、野幌若菜自治会 30,000円

義援金受付期間が延長になりました。平成29年3月31日まで

福祉センターからの
お知らせ

開館日時

①曜日 9時～17時
②曜日 9時～21時

※月曜日が祝日の日は、休館します。火曜日・祝日は、祝日も開館しています。

工事に伴う貸室利用
制限のお知らせ

●福祉センターの電気工事(電灯分電盤・動力制御盤取替)のため11月20日(日)・21日(月)は、全館臨時休館いたします。
●会議室4号の内部改修工事のため、同室および隣の会議室3号は、11月20日(日)から26日(土)までの期間は利用できません。

社協会長
おじゃましました

6月 江別市高齢者クラブ連合会「女性の集い」(寄付金受領)、北海道民間社会福祉事業職員共済会総会・研修会、草野作工(株)へ感謝状贈呈、江別更生保護女性会「創立50周年記念の集い」式典・記念講演・祝賀会、全道市町村社協会長・事務局長研究協議会、北海道市町村社協会长会総会、江別市高齢者クラブ連合会大運動会、第49回全道ろうあ者夏季体育大会、日本赤十字社江別市地区運営委員会、石狩地区市町村社協会长等情報・意見交換会
7月 オレンジRUNえべつ、江別SD-1の会ふれあいチャリティダンスパーティー(寄付金受領)、「花いっぱい運動」草刈、社会を明るくする運動江別地区実施委員会・街頭啓発、母子家庭等就業・自立支援センター石狩地区合同会議、江別市安全安心講座、江別市平和のつどい、大麻・文京台地区2016市民夏まつり、江別市防災会議・水防協議会合同会議、道内の高等養護学校設置要望書提出、老健のつぼろ開設10周年記念夏祭り、えべつ北海鳴子まつり演舞審査
8月 江別ロータリークラブ例会(社協事業説明)、夢あかり&早苗自治会ジョイント夏まつり、江別地区保護司候補者検討協議会、あるて祭

損害保険・生命保険代理業



地域に密着した保険専門店
保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00～18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

商号:有有限会社イー・エス・オフィス

〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1 ☎0120-74-0433

英生会 野幌病院

JR野幌駅前
TEL382-3483

野幌病院 医療相談室 TEL 381-2643
介護老人保健施設 老健のつぼろ TEL 381-1133
老健のつぼろ通所リハビリテーション TEL 381-1177
指定居宅介護支援事業所 のつぼろ TEL 381-8858
訪問看護ステーション のつぼろ 看護科 TEL 381-7877
訪問リハビリテーション科 TEL 381-1193
英生会グループホーム ゆめみの TEL 391-3119
小規模多機能ホーム ゆめみの TEL 391-3229
江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業) TEL 389-5420

税の優遇

個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

社協会費

社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

えべつで活躍するボランティアさんを紹介します



傾聴ボランティアは 人生の「学び」

後藤 文夫さん(77)

平成15年に江別市社協にボランティア登録。平成19年第1期傾聴ボランティア養成研修修了。傾聴ボランティア活動は今年で10年目を迎え、これまでに活動した回数は800回を超える。

後藤さんが現在精力的に取り組んでいるのが傾聴ボランティア(相手の話を聴く)活動です。老人福祉施設を訪問し、利用者さんに「お話を聴かせていただけますか」と声をかけ傾聴をはじめると笑顔が生まれ、時には心にたまっていた思いが次々とあふれ話が終わらないこともあるそうです。

ボランティア活動に取り組んだのは「定年退職を迎え、何かをしなければ」と思い、さっぽろ雪まつりで車椅子介助をしたのが始まりです。その後も施設利用者の買物介助、障がい者の送迎運転といったボランティア活動に参加しました。

傾聴ボランティアは平成19年に社協が開催した傾聴ボランティア養成研修に申込みしたのを機に、週2~3回のペースで活動を続け、今年で10年目になります。「私が来るのを待っていたと声を掛けられることがあり、喜びを感じるとともに活動の原動力になります。また、身体的状況から会話が難しかったり、不勉強な言動から叱られたりしたことなどもあり、人生における貴重な学びになっています」と話す後藤さん。

ボランティア活動をする中で感じたことは、「あの方に良い人生をとの想いや行動が、我が身にも良い人生のあることに気付かせてもらいました。やりがいや生きがいに満たされ潤いのある生活を与えてくれます。これからも感謝しながら学びのあるボランティアを続けていきたいと思っています」と笑顔で話す後藤さんにとって、ボランティア活動がセカンドライフを充実させる場となっているようです。

地域の中で支え合う！自治会の福祉交流活動を紹介します

～愛のふれあい交流事業 実践事例～

幸町自治会

参加者から友達への
口伝で参加者が増加！



幸町自治会地域交流の集い

幸町自治会では「愛のふれあい交流事業」を年間3回開催しています。日程調整は少々大変ですが、福祉センターが近いため会場として利用させていただいており、開催場所には恵まれております。

実施時期は7月から10月までの間であまり暑くもなく寒くない頃で、自治会や高齢者クラブの事業などを考慮します。午前11時から午後2時の時間帯で「ゲーム」「合唱」「懇談」「食事」などのほか、毎年1回保健師さんに「血圧測定」や「健康講話」をお願いし実施しております。実施にあたっては、対象者の見守りを行っているボランティアさんが中心となって行います。昼食は、ほとんどが女性ボランティアさんによる手作りで、参加者も大変喜んでおり、参加者から友達への口伝で徐々に参加者も増えてきているといった嬉しい傾向にあります。

しかし、このような事業を継続していくのは、ボランティアの皆さんの協力があつて実施できるものであり、今後は後継者の発掘が必要であると考えております。



編集後記

第34回江別ふれあい福祉の広場は曇り空でしたが、多くの市民の皆様にご来場を頂き大盛況で開催、善意の寄付にお礼申し上げます。

残暑厳しい中、道内では珍しく台風が次々と上陸し、50年に一度といわれる大雨で甚大な被害に見舞われております。一日も早い復興を願うばかりです。

さて、10月から共同募金運動が始まり、市内3地区で慈善バザーも行われていきます。これらの活動を通じて今一度「思いやりの心」、「助け合うことの意味」を再確認したいと考えております。

今号に快く原稿をお寄せいただいた皆様に感謝申し上げます。

広報編集委員会委員

工藤 多希子



赤い羽根共同募金は、社協だよりも役立てられています